

大会名 Competition	第65回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第46回NHK杯大会【女子決勝】
No. M-1	Year Month Day Time 2010年6月27日 12:00
場所 Place	秋田市立体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
明成	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>0T</td><td></td><td></td></tr> </table>	24	1st	16	14	2nd	16	10	3rd	24	17	4th	18	0T			聖和学園
24	1st	16															
14	2nd	16															
10	3rd	24															
17	4th	18															
0T																	
65 ●		74 ○															

主審:Referee 谷地 温 (秋田)  
副審:Umpire 北沢 あや子 (岩手)  
テーブルオフィシャル:Table officials 秋田北高女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	伊藤 唯	CAP	15	1	6	0	2	4		吉田 怜良		-	-	-	-	-
5	×	伊藤 裕佳子		6	2	0	0	1	5	×	猪股 優奈	CAP	9	1	2	2	4
6	/	佐藤 桃子		6	0	2	2	0	6	/	磯村 鹿乃子		16	0	6	4	3
7	×	羽川 茜		20	5	1	3	5	7		菱沼 愛		-	-	-	-	-
8	×	韓 雨濛		8	0	3	2	1	8		山田 海聖		-	-	-	-	-
9	×	木村 有沙		10	0	4	2	1	9	×	青山 瑠衣		6	1	1	1	3
10		蝦名 香奈美		-	-	-	-	-	10	×	宮崎 わかな		0	0	0	0	1
11	/	阿部 昌子		0	0	0	0	4	11	×	早坂 彰恵		19	0	9	1	4
12		澁谷 早紀		-	-	-	-	-	12	×	高嶋 晴香		19	5	2	0	3
13	/	青山 千紜		0	0	0	0	1	13	/	須田 悠里		5	1	1	0	2
14	/	青池 香澄		0	0	0	0	0	14		中居 珠莉		-	-	-	-	-
15		溪井 麗		-	-	-	-	-	15		堀内 玲那		-	-	-	-	-
16		本郷 志貴		-	-	-	-	-	16	/	村木 愛		0	0	0	0	1
17		齊藤 里恵		-	-	-	-	-	17		川村 晴香		-	-	-	-	-
18		高橋 麗蘭		-	-	-	-	-	18		須田 千尋		-	-	-	-	-
コーチ		安達 美紀							コーチ		小野 裕						
Aコーチ		細野 真							Aコーチ		金 美千代						
合計				65	8	16	9	15	合計				74	8	21	8	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

2年ぶり2回目の優勝を狙う明成高校と、2年連続16回目の優勝を狙う聖和学園の対戦となった女子の決勝。立ち上がり⑨木村のジャンプシュートや⑤伊藤の3Pで加点する明成に対し、聖和は⑨青山のレイアップや3Pで得点を重ね、一進一退の攻防が続く。1Q後半は明成の激しいマンツーマンDFに聖和は苦しみ、シュートが決まらなくなる。明成はDFで流れをつかみ、⑦羽川の3Pなどで16-7とする。しかし聖和は⑥磯村のジャンプシュート、⑫高嶋の3Pなどで食い下がり、24-16明成リードで第1Qを終了する。第2Qは序盤から聖和が激しいマンツーマンDFから立て続けに3つのルーズボールをものにして速い展開に持ち込み、⑤猪俣がフリースローを2つ決めて24-24の同点となる。対するし明成は、聖和のDFが1-2-2のゾーンに変わると④伊藤のドライブ、⑦羽川の3Pで再びリードを奪う。結局前半は38-32の明成リードで終了する。後半は明成④伊藤のレイアップでスタートリードを広げるかと思われたが、残り8分から仕掛けた聖和のオールコートマンツーマンで流れは一気に聖和に傾く。⑪早坂のレイアップ、⑥磯村のフリースロー、⑫高嶋のスティールなどで逆転。それでも明成⑤伊藤の3Pや⑧韓のインサイドで聖和のリードを最小限に食い止め、48-56聖和リードで第3Qを終える。最終第4Qも明成が2-3のゾーンディフェンス、聖和はオールコートマンツーマンを敷く。最初に流れを掴んだのは明成。④伊藤がリバウンド、3Pなどで加点し、残り7分に3点差と詰めたところで聖和がタイムアウトを請求。それでも明成の流れは変わらない。明成⑦羽川のドライブ2本を聖和はファウルで止めるのが精一杯。明成は残り4分で61-63の2点差まで詰め寄る。しかし明成の追い上げもここまで。⑥磯村のシュートや⑬須田の3Pで再び引き離れた聖和は、残り1分半で⑪早坂がゴール下シュートを決めて勝負あり。65-74で聖和学園高校が2年連続16回目の優勝を果たした。